

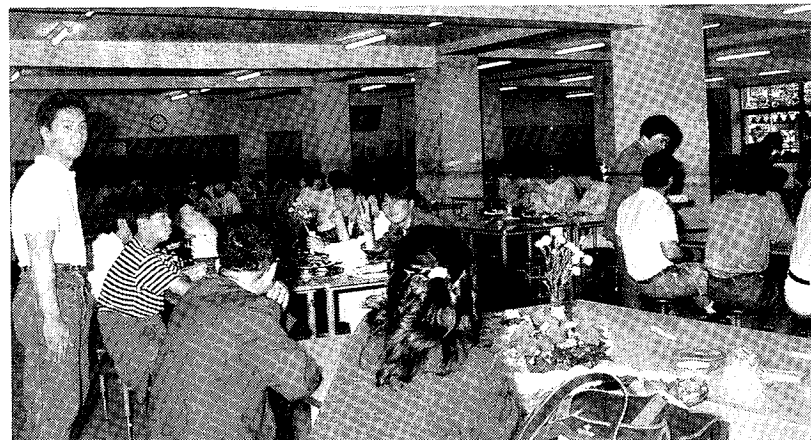
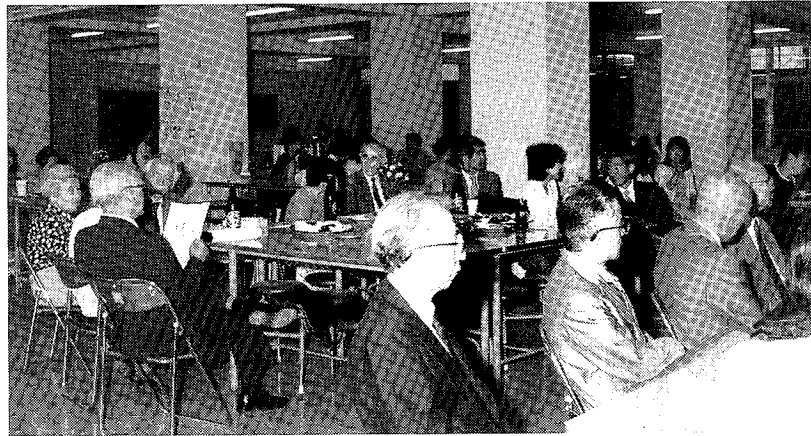
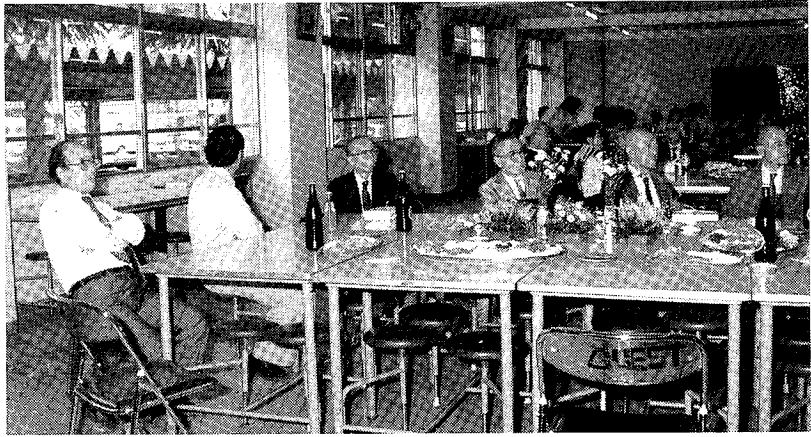
梧桐会(同窓会)開催!!

5月8日(日)母の日 PM1:00~ 於大崎高校

梧桐会報

第35号

昭和63年4月1日発行
発行所
梧桐会
東京都品川区豊町2-1-7
電話(786)3355-6
都立大崎高等学校内
編集人 渡部良彦
発行所 千葉治男
印刷 日正印刷



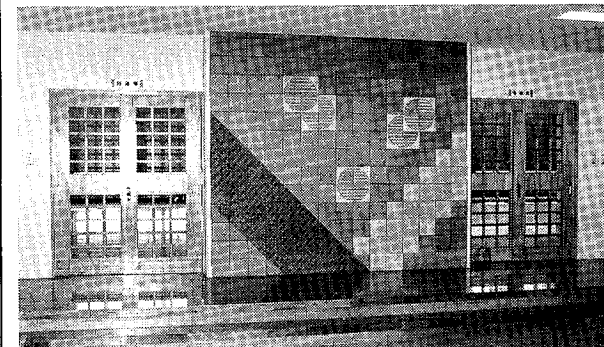
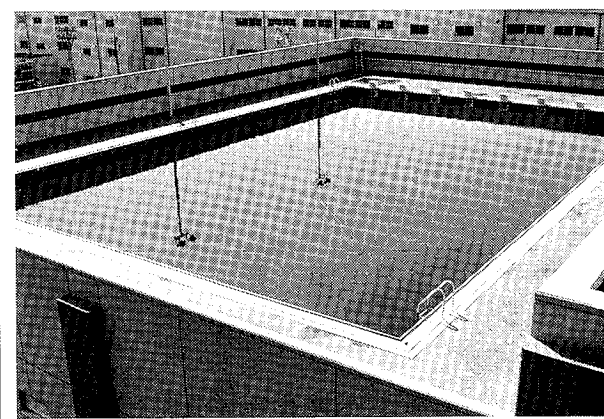
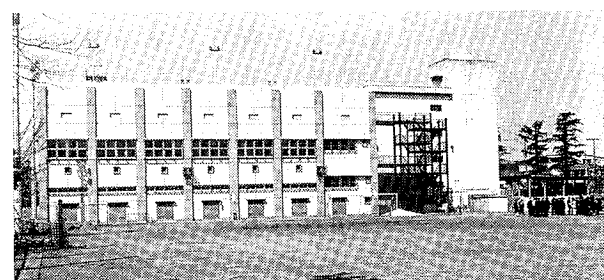
ご案内
日時 5月8日(日)
12時30分
(受付開始)
1時~4時
会費 500円
(新卒者は無料)
プログラム
会長の挨拶
学校長の挨拶
会計報告

今年も五月の第二日曜日(母の日)の八日、母校で梧桐会総会を開催します。昨年の総会の頃は竣工間近であった体育館・格技棟が完成、今年はその見学会等を予定しております。大きく変わった大崎高校、皆さんに見に来てほしいと待っています。さあ、初夏の一日、ビール片手に恩師・旧友と思い出話に花を咲かせましょう。

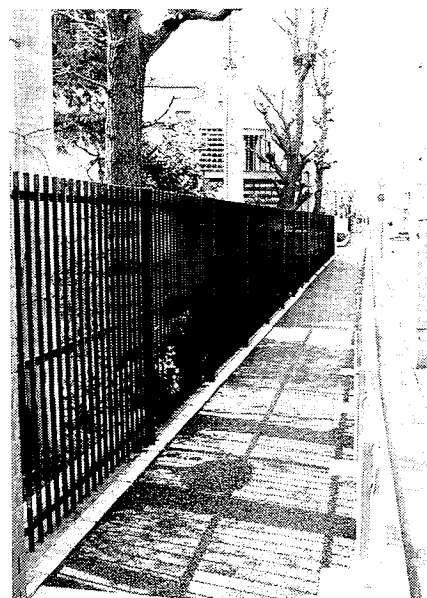
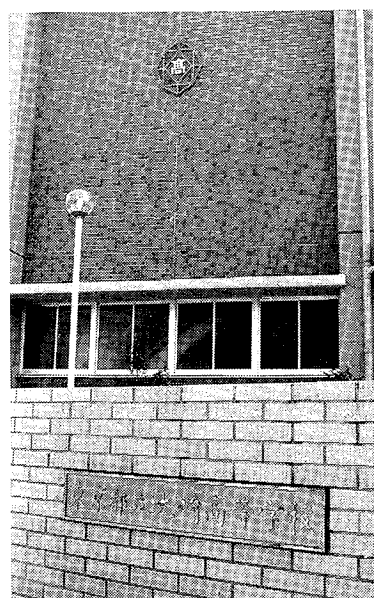
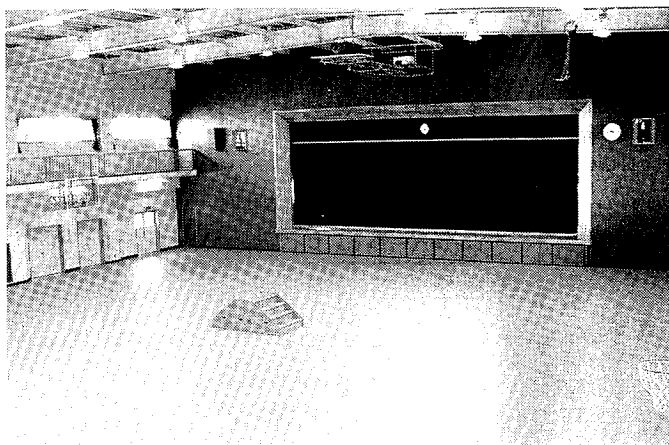
見物大歓迎!!

体育館を見に来ませんか?

今年の総会風景



新体育館等 母校の近況



新しい体育館ができて
副幹事長 加藤 昌明(60年度卒)
昨年六月二十七日、体育館及び格技棟の落成記念式典が行われました。昭和三十一年に建てられた当時の体育館も近年老朽化が目立ち初め、新体育館の建設が望まれて来ました。今年やとその期待通りに剣道場、柔道場、トレーニングルームなど近代的な設備の整った体育館が落成しました。

落成の記念式典では、日本の伝統音楽や吹奏楽などが行われ、体育館いっぱいには素晴らしい音色が広がるのには感動しました。新体育館の中に入ってみて、まず初めに実感したことは、広くなったという事です。また、落成したばかりのこの建物から発する木の香りが私を快く迎えてくれました。

体育館での思い出があることだと思います。在校生の人達はこの度落成したすばらしい体育館で学ぶわけですが、この施設を十分活用し、心身の発達を図ると共に、体育館が学生生活の楽しい思い出の場となれば、何よりのこととおもいます。
なお、毎年五月に行われる梧桐会総会は、新体育館で行われることが予定されています。卒業生の皆様は、ぜひお誘い合せの上ご来校下さい。

去る三月九日、第三十九回卒業証書授与式を行い、新たに三百七十四名の生徒諸君を同窓会員として送り出すことができました。昨年度までは卒業式は品川文化会館を借用して行っておりましたが、本年度からは新築された母校の体育館で初めて行うことができました。卒業生諸君も母校

窓会からも多額の援助を頂き、盛大に落成記念式典を挙行することができました。このことは感謝に堪えません。体育館格技棟の本体工事を併せて、通学路、フェンス、植栽帯及び玄関の新設、校門やロッタリーの整備、バレー、バスケットコート等グラウンドの一部整備など付帯工事も完了し、

内容が、ワイシャツ、ブラウス等については自由とする。上着着用の際は制服とする。バツジは必ずつける。学校の指示する行事等には制服を着用する。という一部自由化の改訂でありました。それがわずか1ヵ月後の十二月十五日付の校長名の通知文では「服装は上下とも自由」という全面

二年度から学年進行で、従前から参考服と称したものを通学服として、全員に着用させることにしました。地域社会及び多くの父母の賛同を得られるものと確信しております。三年間の短い在任期間でありましたが、同窓生の皆様の終生誇りに思うことのできる学校をめざし、さらに一層の

二年度から学年進行で、従前から参考服と称したものを通学服として、全員に着用させることにしました。地域社会及び多くの父母の賛同を得られるものと確信しております。三年間の短い在任期間でありましたが、同窓生の皆様の終生誇りに思うことのできる学校をめざし、さらに一層の

大崎高校退任に当たって



前学校長 武藤 清躬

最後の別れを十分に惜しむことができ、感慨も一入ではなかったかと思えます。思えば、体育館、格技棟の改築は、昭和六十一年十一月の基本設計からスタートし、六十一年九月には着工の運びとなり、昨年六月に面目を一新して立派に完成致しました。そして、六月二十七日には同

施設、設備の一層の充実が図られたことは母校の発展にとって誠に喜ばしいことでありました。次に、東京都においては中学校卒業生が昭和六十二年三月をピークに昭和六十四年度以降急減期を迎えます。学校が生徒を選ぶのではなく、生徒が学校を選ぶ時代が到来し

高校紛争の後遺症の克服というものが考えられます。その一つとして、父母の要望もあり、服装規定の改定という課題を課せられました。当時の記録を調べてみますと、昭和四十六年十一月六日付の当時の船本校長名の父母宛「制服に関する改訂のお知らせ」という通知文があります。その

自由化の通知になっており、向上を期して、誠心誠意努力して参りましたが、顧みて未だ不十分な点が多々あったと反省しているところであり、その後の十年を経て、多くの都立高校は当時の状況から自由化したものを元に戻しておられます。本校でもこの一年余りにわたって先生方の意見を聞き、漸くのこと昭和六十

開かれた学校を目指していくことが期待されています。このような現実の中で、七十有余年の歴史を持った大崎高校は、今後どのような展望を持って進むべきか、また公立学校として、都民からの負託に対してどう応えていくべきか、私達教師の力量が問わ

職員たより

教職員の転退

- 退職**
- 武藤清躬 (校長) 秋草学園高等学校
 - 日下まり (国語) 同上
 - 石井恵子 (音楽) 同上
- 転任**
- 星利美 (教頭) 八潮高校 校長昇進
 - 秋山裕昭 (化学) 中野工業
 - 伊藤雄二 (事務主任) 羽田工業
 - 菊地敏馬 (用務主任) 都立工業高専
- 着任**
- 西山孝 (校長) 足立東高
 - 伊藤晃 (教頭) 桜町高
 - 鶴田淑子 (国語) 雪谷高
 - 竹内重雄 (国語) 羽田高
 - 大川登喜彦 (理科) 江北高
 - 本松純子 (音楽) 港区高松中
 - 葉山栄美子 (助手) 一橋高
 - 東幸一郎 (嘱託) 竹台高
 - 飯島由美子 (事務) 向島商業
 - 羽根田辰蔵 (用務) 芸術高

進路状況

- 昭和六十二年年度卒業生 (三月二十五日現在)
- 進学**
- 四年制大学 二 神奈川II
 - 亜細亜 二 杏林
 - 北里 一 杏林
 - 相模工 一 淑徳
 - 城西 一 専修
 - 創価 一 大正
 - 大東文化 一 玉川
 - 帝京 二 東海
 - 東京国際 一 東京経済
 - 東京理科 一 同(II)
 - 東洋 三 日協
 - 二松学舎 一 日本
 - 日本体育 一 法政
 - 明星 四 武蔵
 - 武蔵工業 一 明海
 - 和洋女子 一 明海
- 短期大学**
- 青葉学園 一 桜美林
 - カリタス女子 一 同(II)
 - 関東学院女子 一 同(II)
 - 共立女子 一 同(II)
 - 駒沢女子 一 産業能率
 - 淑徳 二 聖徳栄
 - 聖徳学園 一 洗足学園
 - 調布学園 四 帝京女子
 - 鶴見大学女子 三 帝京女子
 - 戸板女子 一 東京家政
 - 東京家政学院 一 同(II)
 - 東京女子体育 一 同(II)
 - 東京女子学館 一 東洋

就職

- 東横女子 一 富士
 - 武蔵野美術 一 目白
 - 目白学園女子 一 目白
 - 横浜女子 一 短期大学計三十九
 - 専修 各種学校計七十八
- 就職先**
- イトーヨーカ堂 イマジカ
 - 木村コーヒエ 近畿電気工業
 - コダックイマジカ
 - 資生堂 資生堂パーラー
 - 品川信用組合 昭和大学
 - 西武鉄道 大日本印刷
 - テクノウエア テスカ
 - 天一 東京急行電鉄
 - 東京相互銀行 東京都民銀行
 - トヨペットサービス
 - 日本航空健康保険組合
 - 日産自動車 阪和興業
 - パレスホテル
 - 東調布信用金庫
 - 文化ビジネスサービス
 - 松屋 丸井
 - 三越 富田工業
 - 山一証券 リコー
 - 国家公務員 地方公務員

体育館が完成して思うこと



前教頭 星 利美

ても、老朽化していても、卒業生には、そこに自らの青春を見ることのできるのでありましょう。卒業生の母校への熱い思いにはほのぼのとしたものを感じたものです。古い体育館は昭和三十一年竣工ですので、その当時の生徒はもう五十歳を越えてしま

と校章の八角形を模したトレニングルーム、それに数々の新施設を含む格技棟、どれ一つとっても、卒業生には申し訳ないような立派さです。また、これに付随した工事も学校の様子を変えました。玄関が新設され、校門とロッタリーが整備され、通学路には

卒業式もでき、卒業生も満足してくれたことでしょうか。こうして、道路のかかわりで不可能と言われ続けてきた施設の大幅改善が出来たことは、都関係者にもよりの、地元の温かいご支援があったからに他なりません。それは、換言すれば、地域社会に対す

われらに近くなり、生徒も多様化し、個性を重視した教育がますます大切になってくること、学習面、生活面で、基礎、基本の充実も疎かにすることができなくなりました。また地域に存在している学校にとって、これからは地域に根ざし、地域住民と連携し

大崎高校の印象



現職員 芦沢 正則

開かれた学校を目指していくことが期待されています。このような現実の中で、七十有余年の歴史を持った大崎高校は、今後どのような展望を持って進むべきか、また公立学校として、都民からの負託に対してどう応えていくべきか、私達教師の力量が問わ

大崎高校の生徒を見たとき、私は生温さを感じました。大崎の生徒から、大崎高校の校風を聞くと、十中八九の生徒は「自由」と答えて返ってきます。このことから、決して大崎高校の指導が自由放任の指導をしているわけではありませ

学園紛争の時、服装の自由化が「自由」の代名詞であったように、生徒の中には服装の自由が全ての自由につながるという誤解し、生活面のだらしなさを生んでいる原因ともなっていたと思われま

生まれることを期待する一方、受験生の反応が非常に大きかったことを付け加えておきます。これから数年後には、受験生の激減期を迎えます。一つ一つの課題点を正しく捉え、解決していくことが、都民の負託に応えるものと思

新幹事(62年度卒)

- A 後藤友作 渡邊和子
- B 鈴木一郎 神原めぐみ
- C 小野弘幸 奥田貴子
- D 武原健太郎 阿部のみ子
- E 森竹裕司 向山美紀
- F 波岡佳明 大関さおり
- G 近田康 今 圭子
- H 関川純一 小島京子

取入	62年度予算		62年度決算		内 容	63年度予算	
	繰入	繰入	繰入	繰入		繰入	繰入
繰入	363,937	428,197	1,870,000	1,869,200	新幹会費	298,097	1,870,000
繰入	220,000	198,000	220,000	198,000	入会費、利息	200,000	200,000
合 計	2,453,937	2,495,397	2,453,937	2,495,397		2,368,097	2,368,097
支 出	330,000	321,500	1,150,000	1,167,800	模範店、アルバイト	350,000	1,200,000
支 出	250,000	278,000	200,000	200,000	模範店、アルバイト	250,000	200,000
支 出	100,000	30,000	100,000	30,000	模範店、アルバイト	100,000	30,000
支 出	220,000	200,000	220,000	200,000	模範店、アルバイト	220,000	200,000
支 出	203,937	0	203,937	0	模範店、アルバイト	203,937	0
合 計	2,453,937	2,197,300	2,453,937	2,197,300		2,368,097	2,368,097

千葉 本日は久しぶりに昭和三十一年度卒の先輩方にお集りいただきまして、また同じく三十一年度卒の松沢利行さん、品川区区議員に当選されたというご報告もあり、昔の思い出をたどりながらお話し戴きたいと思っております。

昭和三十一年度・悪童達

松沢利行区議を交えて

出席者
 松沢 利行さん (38年度卒)
 川村 治さん ()
 坂本 武夫さん ()
 大久保輝雄さん ()
 司会 千葉治男 梧桐会会長 (41年度卒)
 なんとまだ 高校の教科書を読んでいるオジサン

坂本 最初からなんです、高校時代の学年差、すこいものがありましたね。一年坊主にとつて三年生はオジサンに思えましたよ。千葉 それだけ一年間一年間が充実していったんでしょうか。

坂本 あの時代、一年間で身につけた事柄は、とても内容があつたんです。今何かしら勉強しようと思つても、ちつとも身につかない。

坂本 今でも高校時代の教科書をよく読んでいますよ。あれすこいいいんだよ。例えば仕事で医学関係の話題に付き合わなければいけない時でも、生物の教科書を読んでいると、大体のことは理解できるよ。



坂本さん 大久保さん

松沢 すこ参考になつちや。松沢 今の話なんか現在の高校生に聞かせてやりたいよ。坂本 もっとレベルの高い人なら別なんだろうけど、我々普通に仕事をしている庶民じゃ高校の教科書で眼界だね。

松沢 でも漢字は忘れてる。松沢 僕達のは女の子の方が多いからね。あれが三クラス、それに男子だけが二クラス、僕は貴重な体験をしてるんだ。何しろ日本史と美術を二回受けてるんだ。二年生は楽し

われら同期生

川村 クラブ活動といへば、大久保君は英語部でした。大久保 よく覚えてもらいたいです。最初がバットブーンの砂に書いたラブレター、次がプレスリーのラプソディ。彼、英語の発音

坂本 この前、あの宿泊所、大正館でいったけど、訪ねてみたんだ。伊豆堂ヶ島で泊まった旅行中、飲んでた小父さん、大崎の先輩なんだよ。よく来てくれたんだね。酔っぱらって突然行つたので迷惑したろうな。

坂本 越境だったけど、目黒から。千葉 僕は神田から国鉄で大雨が降ると休んじゃう。生徒手帳にその都度風邪ですって書き入れちゃうんだ。だから通信簿に「身体が弱いように健康に気がつけるように」と書かれて恥ずかしくなつた。

坂本 僕も、どう調べたらいいか、この問題はどこを見たらいいか、どんな人に聞いたらいいか、と悩んでたんだ。

田区・港区はもちろん、平川君は逗子、宮崎君は保土ヶ谷だったかなあ。

松沢 今回の区議員選挙、僕達のは楽しかったよ。川村 今の人も同じだろう。結構、楽しんでると思うよ。

坂本 僕達のは女の子の方が多いからね。あれが三クラス、それに男子だけが二クラス、僕は貴重な体験をしてるんだ。何しろ日本史と美術を二回受けてるんだ。二年生は楽し

坂本 大崎の先輩なんだよ。よく来てくれたんだね。酔っぱらって突然行つたので迷惑したろうな。

坂本 越境だったけど、目黒から。千葉 僕は神田から国鉄で大雨が降ると休んじゃう。生徒手帳にその都度風邪ですって書き入れちゃうんだ。だから通信簿に「身体が弱いように健康に気がつけるように」と書かれて恥ずかしくなつた。

坂本 僕も、どう調べたらいいか、この問題はどこを見たらいいか、どんな人に聞いたらいいか、と悩んでたんだ。

大崎 O B 区議誕生 坂本 ところで、区議員だと品川区ではどのくらいの票数で当選ですか。四千ぐらい?

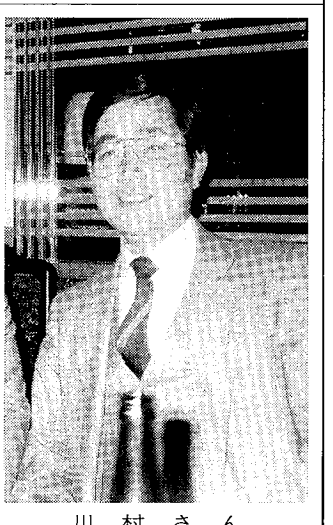
松沢 今回二千二百ぐらいな千葉 やはり区議の方は地元代表だから、地元のために働くという事でいいよ。千葉 そうですね。国政をあずかっている代議士の町会がやたらと良くなる何てのは、大いに問題があるだろうけど。

坂本 松沢さん選出は、豊町なり二葉町なりの代表なんだよ。もう少し欲張って期待すれば、東京都政全体の中で品川区をどうしような方向にもっていくのかという政策にも取り組んでもらいたいというか、例えば

坂本 大崎の先輩なんだよ。よく来てくれたんだね。酔っぱらって突然行つたので迷惑したろうな。

坂本 越境だったけど、目黒から。千葉 僕は神田から国鉄で大雨が降ると休んじゃう。生徒手帳にその都度風邪ですって書き入れちゃうんだ。だから通信簿に「身体が弱いように健康に気がつけるように」と書かれて恥ずかしくなつた。

坂本 僕も、どう調べたらいいか、この問題はどこを見たらいいか、どんな人に聞いたらいいか、と悩んでたんだ。



川村さん

松沢 充分あると思うけどなあ。松沢 交通の便を一つ考えても、大崎高校があそこに残ることは間違いない。いずれにしろ教職員の方でもPTAの方も年々変化してるから、長期的に大崎の立場で何かを主張していくのは同窓会なんです。

千葉 道路問題も相当ビッチが早まりそうなんです。松沢 来年度には大崎の前まで事業認可もおりますから、千葉 買収していくのに東京

坂本 大崎のOBでも、すこい真面目か不真面目か、とにかくバラエティに富んでいるよ。

坂本 子育てどころかもう子供がまた大崎に入學して、おかしな年齢だろ。大久保 去年クラス会やったんですよ。女性のクラスメイトに電話して、相手が出てくれたと思つてずつと話していたの、声がすくりだからね。そのうち母は今出かけていますよ。

坂本 クラス会何人ぐらい集まった? 大久保 二十七名だったかな。松沢 それは立派だ!

川村 ます同期会をやりましょう。千葉 会社の先輩で五十代半ばの方がよく言っているんですけど、年と共に昔の同期と飲むことが多くなつたんですよ。安心して飲める仲間だから。

坂本 僕も飲む機会が多いけど、高校時代の仲間と飲むと、高橋時代の仲間と飲むと、安全なんだよ。川村 でも面白い学校だったね。木造校舎で、昭和四十年の初めはまだくみ取り便所だもんねえ。こうやって久しぶりに会って楽しめ話すのも、本当にいいですね。

千葉 三十八年の先輩諸氏のみならず、OBの皆様、今後とも同期会なりクラス会なり、親睦を図って戴きたいと思つています。今日はありがとうございました。先輩方もあまり飲み過ぎないよう。

坂本 越境だったけど、目黒から。千葉 僕は神田から国鉄で大雨が降ると休んじゃう。生徒手帳にその都度風邪ですって書き入れちゃうんだ。だから通信簿に「身体が弱いように健康に気がつけるように」と書かれて恥ずかしくなつた。

坂本 僕も、どう調べたらいいか、この問題はどこを見たらいいか、どんな人に聞いたらいいか、と悩んでたんだ。

坂本 僕も、どう調べたらいいか、この問題はどこを見たらいいか、どんな人に聞いたらいいか、と悩んでたんだ。

会員だより

父子バーテンダー

宮原 徳義 (28年度卒)
宮原 卓 (59年度卒)

JR大森駅東口より徒歩二分の所に、六十二年五月より、ちよつとしゃれた、一見六本木にあるようなレストラン・ブティック・ス・ワンを開設しました。お陰様で、連日若い女性、若いカップルで賑わっております。
ここまではどこにでもあるお店の開店話。
オーナー父五十二歳、息子二十一歳、父子で同じ店をやっております。息子は大崎高卒業後建築デザイン学校に進み、将来の一級建築士を目指しております。ところが、大井町仙台坂にて永年営業してまいりましたスナックドルチェにビル建替のための立退きの話が持ち上がり、営業不能になり、新しい所に移ることにいたしました。



面をお借りして、誠に申し訳ございませんが、こんな店を

双子って便利

山田 美智子 (小川) (50年度卒)
小川 佐智子 (50年度卒)

四十八年に私達二人は同じ中学から受験し、大崎に入りました。自分で言うのも何ですが、仲良くいつも一緒にいたいと思っていたので、同じ高校へ入ることができてとても喜びました。そしてお互いの友が友になり、高校時代は楽しい日々でした。
ですが、高校を出るとやはり進む道は分かれて、一方は外国語学校へ、一方はある製薬会社へ、そして今二人は結婚して二児の母と看護婦さんと、全く立場は違いますが、やはり同じ双子で、近所に住んで、しょっちゅう言ったり来たりしています。
双子の私達は、やはり普通の兄弟の感覚とは少々違い、お互いが自分のような感じで、相手が何を考えているか大体分かりますし、何でも話せる

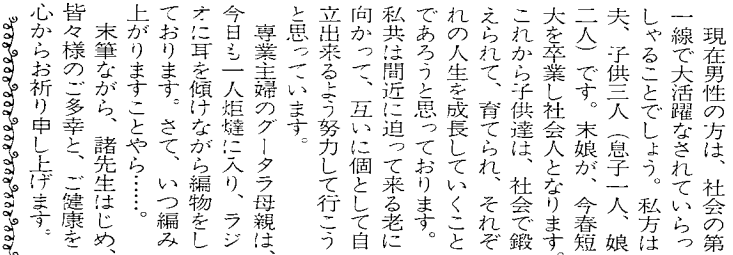


をみると、大崎時代のこと、今は亡き田口先生のことなど、出てきます。
高校時代は、あまり勉強もせず、友達と悩みごとや恋愛論やばかり話合ったりして、一瞬のうちに終わってしまっただけです。
これは私も私達は仲良く、おばあちゃんになってもこのままでいたいと思います。

時は風のように過ぎ

金高 由紀子 (井上) (30年度卒)
金高 治美 (53年度卒)

同窓生父子で経営して、数年後には、店をもう一店舗、二店舗を増やして行くため、毎日仕事に精を出しております。
皆様には、お元氣にお過ごし、いらつしやいますか。私共親子で大崎高校へお世話になりました。
娘は今、勤めに首つたけで困ったものです。私など遠い遠い昔のこと、時は風のように過ぎました。
当時大崎高校は、五反田日野より移転し、日浅く校門は武家下屋敷風の木造の門(薬医門)と言ひ、現在は山梨県は山中湖畔に移転されているのであります。私は徒歩通学であったので、よく戸越公園側の裏門から通っております。



28年度卒同期会

62年5月15日(金)、新宿住友ビル52階の「加寿翁」にて開催しました。
当日は、小林ふみ子先生、古村アイ先生、中嶋正義先生をはじめ、遠く長野県上田市から小林元亨先生ご夫妻が、かけつけていただきました。(奥様は私共と同級生。総勢約40名、なつかしい顔が揃いました)
今回はグルメ嗜好で、素晴らしい夜景を眺めながら、先生方のご挨拶や会員の近況報告など、楽しい話が披露されました。
また、数多くのプレゼントが用意され、座席番号による抽選で面白おかしく贈呈され、そのはしゃぐ顔は、昔と少しも変わらず、タイムトンネルの中にありました。
二次会も、お店のご好意により、(店長は同期生の息子さん)同じ場所で行き続き行われ、誰一人として退席する者もなく、ワインとコーヒードまたまた昔話に花が咲きました。
記念撮影のあと、時刻を見れば11時半、あつという間の同期会、席を追いられるように



最後に、同期生の山田美智子さんと小川佐智子さん、最後は幹事の加藤牧子さんと羊子さん。皆さん無理言いました。ごめん、親子で結構いっしょやんでね。調べるの大変でした。今後も、こういった特集を続けたいと思います。自選集選問いませぬ。我々は親子だ、兄弟だ、夫婦だという方々、ぜひ原稿をお寄せ下さい。もちろんそうでない方々も歓迎いたします。(なべちゃん)

われら親子双子同窓生

牧場の羊

加藤 牧子 (58年度卒)
加藤 羊子 (58年度卒)

トントン、と校長室のドアを開けると、私たちが座すべく椅子の前に先生方の顔がずらりと並んでいました。思わず緊張の一瞬……。今から六年ほど前、私たちが高校二年の秋に名古屋から編入試験を受けに来た、その面接の場面の一コマです。こうして私たちは大崎高校の門を一人で一緒にくぐるようになったので

まず、私たちの大崎高校の第一印象は、校庭の狭さと年代を感じさせる校舎でした。けれどもっと驚いたのは、大

編集後記

◇二月上旬原稿依頼、三月に入りポツポツと入稿、四月上旬から中旬にかけて催促の電話・電話・電話

最終入稿が四月二十五日、二月十七日印刷、三十日納、五月一日封入、二日局出し。最後の十日間がきつかった。毎年四月上旬には発送まで終えてしまおうと思っただけで、結局、総会の数日前にやっと皆さんのお手許に届くという状況が続いている。もっと早くお届けできれば、皆さんも「総会出席」の予定を入れられるのにと……。編集者が怠慢なのか、それとも……。とにかく届いた会報をご覧いただき、編集者の苦勞を読み取っていただけたらな、と思つてこのところ、発送に要する時間が大幅に短縮されています。宛名シールとフリ付封筒の採用はもとより、発送担当の採用は毎年のように進んでおりましたが、皆様のプロフェッショナルです(ちよつとオーナーかな)。今一つ、会報が出来上がるまでの時間が縮まらないのは頭痛い。◇本号では、われら同窓生シリーズとして親子・双子の特集をしました。双子の方は、当方で三組把握しており、その三組は、この後記を書いている私(同窓会の幹事で写真部で50年度卒)とどこかつながりがありました。まず、46年度卒の細井晃代さんと藤江育代さん(旧姓森永)。写真部の先輩で、原稿依頼したところ、何とお二人とも出産を控えているということで、今回の掲載はあきらめました。そして同期の山田美智子さんと小川佐智子さん、最後は幹事の加藤牧子さんと羊子さん。皆さん無理言いました。ごめん、親子で結構いっしょやんでね。調べるの大変でした。今後も、こういった特集を続けたいと思います。自選集選問いませぬ。我々は親子だ、兄弟だ、夫婦だという方々、ぜひ原稿をお寄せ下さい。もちろんそうでない方々も歓迎いたします。(なべちゃん)